



「樹心廟」全景



# 西林寺だより

発行元  
西林寺門徒総代会  
広島県安芸郡坂町  
坂東3-14-17  
(082)885-0018  
西林寺

杖のことは  
本当のものが  
わからないと  
本当でないものを  
本当にする

『登門列名記』  
普庵の教導を受けた門弟の名簿



在の佐賀県・長崎  
県)からの門弟が  
多く、境内には研  
鑽道場「松川館」  
と学寮(寢食の場)  
が建設されていま  
した。

### 普庵勧学と大瀧和上(5)

ふごんかんがく だいえいわじょう  
本願寺の危機といわれた三業惑乱は、終結  
までに長い年月を費やしましたが、これによ  
り、安芸の国の真宗寺院の僧侶は、真摯にみ  
教えに向き合い、甘露社で研鑽を積んだ大瀧  
をはじめとした俊僧は、今度は自身が私塾を  
開設し、そこで学んだ門弟も自坊で、後進の  
育成のため、私塾を次々と設立してゆきます。  
「徳星、安芸に集まる」といわれ、それらは  
「芸徹」と呼ばれました。  
香川南浜の『秋長夜話』に「此ノ国ハ一向  
宗(浄土真宗)盛ニシテ郡中村々一向門徒ニ  
アラザルハナシ」と記されるように、「安芸  
門徒」と呼ばれる地域にみ教えが根づいた  
「真宗王国」が誕生します。  
普庵のもとにも、江戸復命後まもなく、遠  
近各地から教えを請い、百有余人を数える門  
弟が集います。その育成にあたること29年の  
長きにわたりました。その中でも、肥前(現

## お知らせ

3月に予定しておりました「本願寺専如門主法統継承及び西林寺客殿改修落成慶讃法要」は、新型コロナウイルス感染症の拡散防止のため、秋口に延期の予定でしたが、一旦は収まりつつあった感染状況が再び悪化したことから、今秋の修行は困難と判断しました。今後、状況を注視しながら、明年3月下旬から5月上旬に予定させていただきます。  
この法要を心待ちに予定されておりました皆さまには、再三の延期に大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒この苦渋の決断にご理解のほどお願い申し上げます。  
延期いたします法要は、当初の予定通り、帰敬式の受式と稚児行列(稚児出仕のお子さまの衣装の寸法変更は、追ってまたご連絡いたします)を執り行います。  
申し込み冥加金は引き続きお預かりさせていただきまますので、キャンセル希望の場合は、その旨を各地区門徒総代までお知らせください。時節柄、重々ご自愛ください。  
合掌

## 「樹心廟」建碑法要

この度、境内に完成いたしました「樹心廟」(納骨段併設型永代合同墓)の建碑法要が梅雨の合間の晴れた7月19日(日)に多くの参拝をいただき、勤修されました。納骨の詳細は西林寺までご連絡ください。



樹心廟内部の納骨段

## 安芸北組報恩講3寺参り中止

毎年恒例となりました報恩講3寺参りは、コロナ禍のため本年度は中止となりました。

## 法座案内

秋季永代経法座

十月十四日(水)昼席より  
十六日(金)朝席まで

講師 島根県温泉津町  
西楽寺 菅原 昭生 師

仏教婦人会報恩講法座

十一月十八日(水)昼席より  
二十日(金)朝席まで

講師 西林寺住職

報恩講法座

十二月八日(火)昼席より  
九日(水)昼席まで

講師 佐伯区湯来町  
最廣寺 中村 英龍 師

朝席7:00~・昼席13:15~・夜席19:30~

## 編集後記

オリンピックに沸いたはずの今夏以降、コロナ禍と熱中症、台風心配しながら不安の中に季節が過ぎてゆきました。  
安心して皆が集える「日常」は戻ってくるのでしょうか。いつの間にか忘れ去っていた、当たり前の有難さに気づかされ、「日々感謝を忘れずに」というフレーズが改めて思い返されます。





その美しい声に、み  
 教へのありがたさを改  
 めて気づかさせていた  
 だくとともに、コロナ  
 禍の不安な毎日に安ら  
 ぎをいただいたような  
 気がします。



### 仏教文化講演会

「これまでお寺にご縁の少なかつた方にも  
 お寺に足が向くように」との願いから、今年  
 から7月の「安居会法座」を「仏教文化講演  
 会」と名称を変更し、これまでとは少し違っ  
 たご法座を開催することとなりました。

第1回目のご講師は奈良県の三浦明利師で  
 した。自ら作詞作曲された仏教の教えを生活  
 の中で味わえる、やさしい曲をギターを片手  
 に弾き語りされました。

## 聞思録(もんしりく)

新型コロナウイルスの影響で、誰もが多か  
 れ少なかれ、失ったものと引き換えに大切な  
 ことに気づかされたことでしょうか。  
 北大路魯山人の言葉に「座辺師友」という  
 ものがあります。これは仏教の教えに重なる  
 もので、「ほんもの(優れた人や物)に囲ま  
 れて生活するならば、その心をおのずと学び  
 とることができる。そうすると、周りのすべ  
 てが、大切な気づきを与えてくれる師となり、  
 友となる」という意味でしょうか。

また、「杖のこぼし」の「本当のものがわ  
 からないと 本当でないものを本当にする」  
 は大切な示唆を与えてくれます。本当のもの  
 がわからないと、本当でないものを本当にし  
 ます。それは自分のものさし(我執)を本当  
 にするという事です。自分のものさしで判  
 断しているうちは、ものを正しく判断するこ  
 とはできません。そこには悔恨の念が生まれ  
 ます。しかも、この自分のものさし(我執)  
 は根が深く、簡単には取り除けません。

聖徳太子は「世間は虚仮にして、唯仏のみ  
 これ真なり(この世にあるものはすべて仮の  
 ものであり、仏の教えのみが真実である)」  
 といひ、親鸞聖人は「煩惱具足の凡夫、火宅  
 無常の世界は、よろづのこと、みなもつてそ

らごとたはごと、まことあることなきに、た  
 だ念仏のみぞまことにておはします」と、仏  
 教ではこの世のものには真実はないと教えま  
 す。だから、先達はこの世の価値観を超えた  
 仏法を本当のものといいただき、いのちの依り  
 どころとして、人生を正しく生きてゆかれま  
 した。最初は何が本当のものかわかりません。  
 しかし、本当のものに出遇うと、少しずつ本  
 当のものに照射されて、本当でないものが教  
 えられ、やがてひとつひとつの気づきが、本  
 当のものに出遇うご縁であったと知らされま  
 す。本当のものに照らされてこそ、人生で出  
 遇った辛いことや悲しいこと、そのすべてが、  
 順縁・逆縁、この人生のかけがえなき・有難  
 さに気づかせていただくための師となり、よ  
 き友となり、宝物と受け止められるのです。  
 そこに人生には何ひとつ無駄なこととはなかつ  
 たという気づきが生まれます。

「不要不急」という言葉をよく耳にします。  
 お経に「世の人、薄俗にして共に不急の事を  
 争ふ」と「不急」という言葉が出てきます。  
 それは「何が本当に大切なのか、求めなけれ  
 ばならないものは何か」がわかったとしても、  
 目先のことに執らわれ、さして重要でも緊急  
 でもないことで争いを繰り返す人間の本質  
 (愚かさ)を教示しています。だからこそ、  
 常に本当のものを終いの依りどころとしてい  
 つも自身を問うことが重要なのです。

### 仏教婦人会 あれこれ

#### 盆踊り中止

孟蘭盆会は8月14日昼席から16日朝席まで  
 勤まりましたが、恒例の仏教婦人会主催の盆  
 踊りは新型コロナウイルス感染防止のため、  
 中止となりました。

#### おみがき・草刈り

8月12日(水)お朝事後、仏教婦人会と  
 仏教壮年  
 会合同で  
 お盆前の  
 本堂内陣  
 の仏具の  
 おみがき  
 と、境内  
 の草刈り  
 清掃作業  
 を行いま  
 した。  
 猛暑の  
 中、ごく  
 ろうさま  
 でした。



### 西林寺の常朝事

お寺のご本尊(阿弥陀如来)への毎朝のお  
 参りを晨朝礼拝といい、この辺りでは「お朝  
 事」といいます。

その起源は、普賢の兄弟子の道命の住持す  
 るお寺(徳正寺)がある能美島一帯で常朝事  
 が始まったことから、西林寺でもこの頃始まっ  
 たと思われます。当初は、隔日(偶数日)で、  
 普賢が逝去した日にもお朝事が勤まっていた  
 記録が残っています。

現在は、7時より喚鐘、ご本尊への毎朝の  
 ごあいさつとしてのお勤め「正信偈」と永代  
 経のお勤め「重誓偈」の後、御文章拝読とご  
 法話があります。その後、合同の御命日(中  
 陰・月忌・祥月命日等)法要Ⅱ上経が勤修さ  
 れます。



昭和30年の本堂焼失時も、翌朝からお朝事  
 が勤められました。20  
 0年に及ぶ常朝事の伝統  
 に、仏法を依りどころに  
 幾多の人生の困難を乗り  
 越えてゆかれた先祖の足  
 跡をうかがい知ることが  
 できます。  
 御命日にはお朝事にお  
 参りしましょう。

### 仏教婦人会行事案内

十一月十八日(水)から  
 二十日(金)まで  
 婦人会主催報恩講法座  
 (お斎は中止します)  
 十一月三十日(月)  
 安芸北組  
 広島別院清掃奉仕

### 仏教壮年会 あれこれ

#### 仏壮結成50周年記念式典

コロナ禍で延期になっておりました50周年  
 記念事業の式典(祝賀会無し)は、10月24日  
 (土)14時から西林寺本堂で行います。

### 仏教壮年会行事案内

十月十日(土)〜十三日(火)  
 境内の庭木の剪定  
 十二月二十八日(月)  
 境内の本堂煤払い  
 十二月三十一日(木)  
 除夜の鐘・火の番